

カトリック山形教会報

かすみ

6

2014.6.22

カトリック山形教会

〒990-0039 山形市香澄町2丁目11-15 TEL.023-622-3574 FAX.622-3590
ホームページ <http://www.catholic-yamagata.com/>



写真後列左から、マイケル神父、大瀧神父、町田神父、佐藤神父、川又神父、飯野神父、マーフィー神父、伴神父、トニー神父、千原神父、キャリー神父、野崎神父、マルチネス神父、前列左から、ドネガン神父、橋神父、ブラザー中沢、ワルヨ神父、菊地司教、本間神父、ピファアー神父、山田神父、マクドナ神父。そして、侍者の子どもたち。



多くの方々に愛されて 「銀祝」迎える

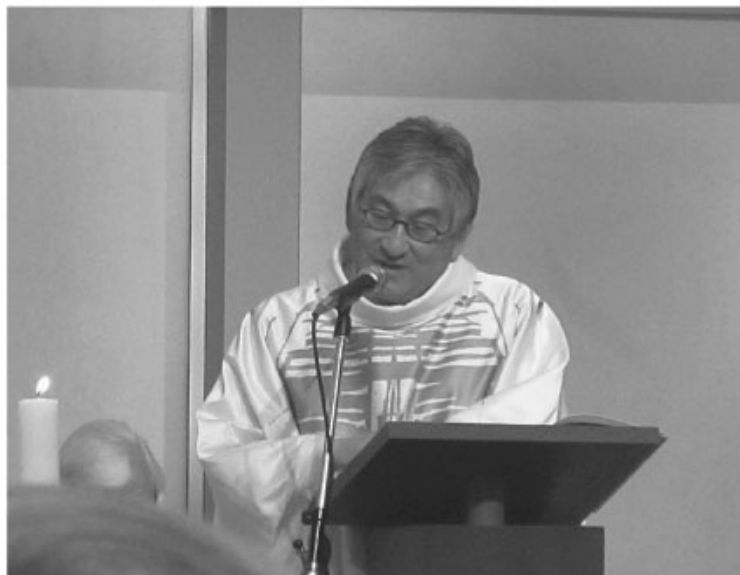
聖パウロ三木 本間研二神父 司祭叙階25周年
2014年5月5日 ホテルメトロポリタン山形

5月5日(祝)、ホテルメトロポリタン山形を会場に、カトリック山形教会の主任司祭、本間研二神父の司祭叙階25周年(銀祝)の記念ミサと祝賀会が、感謝と喜びのもと開催されました。

当日は、カトリック新潟教区の菊地功司教、イエズス・マリアの聖心会日本管区長の山田宣明神父をはじめ、18人の司祭、ブラザー、シスター、そして300人を超える多くの方々においでいただきました。

大きな会場を準備したにもかかわらず、ミサが始まるころには人で埋め尽くされ、記録写真撮影の移動も難しいほどでした。また、信者以外の方も数多く見受けられ、改めて本間神父の交友関係の広さを感じさせられました。

今号は本間神父「銀祝」の特集といたしました。それでは、この日の様子を時系列で、写真を使いお伝えいたしますのでご覧ください。



祈られて、いる私

カトリック山形教会 主任司祭 本間 研二

今から25年前の事、7年間学んだ東京カトリック神学院卒業して神父に叙階されたのですが、神学院での最後のミサの時、院長が説教の中で次のように言われました。「お前たちは、これから教会に派遣されるが、教会に行ったその日から神父様と呼ばれる。でもいくら様、様と呼ばれても偉くなった訳ではないから勘違いするなよ。」

ハイとは言ったものの、ダメでした。偉くなったとは思わずとも随分と背伸びをしていました。ミサでは習いたてのノートを開いて哲学やら神学用語を散りばめた説教を書き、目で字面を追いつつながら読んでいました。

ある日ミサの後、一人のご婦人が来て言いました。「神父様の説教つまんない。どんなに素晴らしい説教も下向いて読んでいるだけでは伝わって来ないし、私たちは難しい神学を学びに教会に来ている訳ではないのです。だから神父様が心から信じている事を神父様の言葉で、私たちを見て話して下さい。」

あの言葉は痛かったけれど、今思えば、よくぞ言ってくれました。有難い戒めの言葉となっています。

神父になりたての頃、きっと教会は善意に満ちた天使のような人たちで溢れているパラダイスみたいな所だろうと思いついていました。でもそれが錯覚だという事に気が付くのにはさほど時間はかかりませんでした。当たり前ですが、教会も欠点や弱さを持つ人々の集まりなのです。ですから嬉しい事だけではなく、批判や

心のぶつかり合いもあります。苦しい事も辛い事もあります。

とても大きな苦しみの時がありました。悩みに押しつぶされそうになり、何をやっても手に付かず、心は悲鳴を上げ、辛い日々が続きました。そんな最悪の状況の時、ある教会から黙想会の講師の依頼を受けていたのです。土、日にかけて1時間のお話しを2回とミサの説教です。準備をしようと思って机の前に座っても考えは浮かびません。祈るために聖堂に行っても雑念が心から湧き出るばかりです。しかし刻々と日は流れ、黙想会の日を迎えました。準備不足は否めませんが、必死に心の引き出しをひっくり返しながら、講話もミサの説教も何とか乗り切ることが出来ました。しかし祈りもせず準備もしていないのですから、話の中身はメロメロです。申し訳なささと恥ずかしさで、私は帰り支度を急ぎました。

そこに年配のご婦人が来られてこう言われたのです。「神父様、神父様は祈られた方ですね。」私はびっくりしました。祈ってもいないし準備もしてこなかったのですから。心の中で、「すみません。祈りも準備もしないまま来てしまったのです。」そう眩きながら、その場を後に、そそくさと山形へと帰って来ました。しかし帰ってからもご婦人の言葉が耳から消えません。「神父様は、祈られた方ですね。」

幾度となく考えているうちに、あっと思いました。その言葉を私は「神父様、あなたは祈っている方ですね。」と受け止めていたのですが、そうではなく「あなたは、いろんな方々に祈られている方ですね。」という意味なのではないかと。

確かに私は多くの方々に祈られています。聖堂や修道院で、家庭で、そして気づかぬ所で、実に多くの人々に日々祈られています。私が誰かのために祈っている何十倍もの祈りで私は誰かに祈られています。祈らなかった私が、誰かの祈りによって生かされていたのです。

司祭生活25年を迎え、やっとそんなことに気が付いた私ですが、これからも今まで以上に皆さんの祈りに助けられながら、司祭の道を歩んで行きたいと願っています。

ありがとう。これからもよろしく。

記念ミサ30分前



これから始まる式典に向け、最終の打ち合わせを行っています。

(①祝賀会司会担当の高越さんとSr.木田、②ヨハネクワイヤのみなさん、③フルート奏者の小林さん、④各担当者の最終確認)

記念ミサ10分前



①売店の準備も整いました。(ノウハウ会のブラザー田中と工藤さん)。
②ロビーでは侍者と本間神父が最終確認
③広い式典会場はいつの間にかお客様でいっぱい。

司祭入堂

入祭の歌「キリストのように」が歌われるなか、侍者を先頭に司祭が入堂してきました。





司教を中心に、祭壇には21人の司祭が並び、パノラマ撮影でないと全てが取まらないほど

菊地司教司式による本間神父司祭叙階25周年記念ミサ



緊張することもなく、第一朗読を読む柴田竜哉さん



山形県内の各教会代表者による奉納



いよいよミサのクライマックス、交わりの儀



聖体拝領と祝福は数ヶ所に分かれて行われました



ミサで歌われる聖歌は、日本語、英語、タガログ語が用いられました



式典会場は満席。後ろには立っている方もおられます



独唱で拝領の歌を担当したシスター木田



新潟教会の大瀧神父による
ユーモアを交えながらの脱教



異色の経歴を紹介しながら、
お祝いをする山田管区長



お客様の多さにも驚かれた
カトリック新潟教区・菊地司教



25年間を振り返り、
感慨深げに謝辞をのべる本間神父

大いに盛り上がった祝賀会

各教会の皆さんがこの日のために頑張りました。



沼沢会長の開宴の言葉で祝賀会が始まりました



東京カトリック神学校の前院長の野寄一夫神父による祝辞



宗教者懇話会代表の祝辞は宝珠山・立石寺の清原住職



乾杯と食前の祈りは日立教会の川又神父



祝宴スタートに披露されたマーフィー神父のアコーディオン



余興のトップバッターは米沢教会・AKB48の「恋するフォーチュンクッキー」



水戸・日立・那珂教会の会興では水戸黄門に変身! 会場に大きな笑いが...本人はまんざらでもなさそう



2番手は新庄教会の歌と踊りで盛り上がりました



山崎さんの「おてもやん」

ダルクの皆さんはお揃いの衣装で歌を披露してくれました



ウクレレのメロディーに会場は南国気分



裏方の司会は時間通りに進まずあせっています



若手4人の神父もじっとしてられません



最後はやっぱり山形教会名物「花笠踊り」で締めくくりました

みなさまからの祝いメッセージを紹介します。 当日、会場でメッセージBOXに入れていただいたメッセージです。

●叙階25周年おめでとうございます。小教区山形において、姉妹たちがいつもお世話になっております。神父様の牧者としての生き方にも感銘を受けております。これからの司祭生活でますますイエス・キリストを生きる者となられますようにお祈りいたします。(オタワ愛徳修道女会・シスターS)

* * *

●本間神父様叙階25周年おめでとうございます。元青年会の仲間(お姉さん?)として、管唱詩編を歌わせていただきました。神様がお呼びになる時まで神様の道具として歩み続けることができるようにお祈り下さい。私もお祈りいたします。(山形教会・I)

* * *

●25周年、おめでとうございます。神父様に色々と迷惑をいっぱいかけました。本当にごめんなさい。口をきかないことを本当に悪いなと思っています。でも今は、一生懸命頑張っています。教会にはあまり行けなくなりましたが、仕事が忙しいからごめんなさい。神父様には本当に感謝しています。口には出せませんが、心から思っています。本当にどうもありがとうございます。いつまでも体に気を付けて下さいね。また、時間があつたら教会に行きます。今日、来られたこと本当に嬉しいです。これからも頑張っていきたいと思ひます。神父様もお元気で長生きして下さい。本当にありがとうございます。(新庄教会・I)

* * *

●本間神父さまに安らぎと幸せがありますように。

本間神父さまのすばらしい点

1. えらぶなくてすばらしい。
2. 信徒との間に壁をつくらなくてすばらしい。
3. 分かりやすい説教を心がけてくださってすばらしい。
4. 四つもの教会に聖体を授けてくださってすばらしい。(洗礼も)

5. 聖マリア幼稚園、保育園を通して、たくさんの子供と母親を助けてくださってすばらしい。

6. 深く心に響く説教をしてくださってすばらしい。

7. 私にご聖体を授けてくださった。(山形教会・N)

* * *

●叙階25周年、本当におめでとうございます。最近一番心にあるものは、困った時だけ神父様とお話することです。今夜は、少しずつ教会のために何をすべきかを考え、生きたいと思ひます。また、父のように、定年後はボランティア精神で、教会に少しでも貢献したいです。(山形教会・M)

* * *

●銀祝をお迎えになられておめでとうございます。米沢教会ではお力をいただいてすっきりとしてまいりました。信者会館の室内のペンキ塗りを思い出しております。新庄教会のことも今後ともご指導下さい。(米沢教会・K)

●25周年、おめでとうございます。今後とも、いろいろ、よろしくご指導お願いします。(花園教会・T)

* * *

●おめでとうございます。心からお祝いと感謝を申し上げます。お母様が天の国でどんなにかお喜びでいらっしやる事でしょう。山形教会共同体のために、いつもお心配りをして下さる神父様のお祈りにも有り難く思ひます。お健やかに日々お過ごしなされます様に、お祈り申し上げます。結城さんと大宮さんのご主人と共にお祝いのミサに与れたらと残念でございました。お二人のご回復を祈り…。素晴らしき一日を神父様ありがとうございました。(山形教会・O)

* * *

●本間神父様、銀祝おめでとうございます。今日、ここで、一緒にお祝いできる幸せを神様に感謝しております。これからも神様の恵みと祝福が神父様の上に豊かにありますよう、お祈り申し上げます。勝俣先生からも、どうぞよろしくお伝え下さいと申しておりました。(上野毛教会・I)

* * *

●本間司祭の叙階25周年のお祝いのミサに参列させていただきました感謝でした。儀式が流れるように進み、その中に神への賛美と祈りとメッセージが整えられてあることが、よく分かりました。終わりの挨拶で、真摯な姿勢を感じることができ、感銘を受けました。主のお支えをいただき、教会員に愛されて、託された使命を全うされますよう、お祈り申し上げます。(山形キリスト教会・S)

* * *

●本間様、本日は誠におめでとうございます。また、宗教者懇話会での活躍にお力をくださりましてありがとうございます。25年間のご活躍にお祝いとこれからもご健康にご留意されて、ますますのご隆盛を御祈念申し上げます。合掌。(立正佼成会・T)

* * *

●本間研二神父さま、司祭叙階25周年おめでとうございます。大勢の方がお祝いにいらっしやって素晴らしいお祝いで嬉しかったです。水戸教会に初めていらっしやった日をよく覚えております。25年、長い間、ありがとうございます。これからも、お身体を大切に神さまの愛を伝えて下さい。(水戸教会・S)

* * *

●司祭叙階25周年おめでとうございます。25年前の叙階式が目に残ります。山形県警で一言取り締まりの時、イエス様に“逮捕”され、“私の羊を養いなさい”と言われて司祭職の道を歩まれた神父様、これからも小さな者と共に一歩一歩進んで下さい。(新潟教会・K)

* * *

●25周年おめでとうございます。今後ともよろしくお願い申し上げます。(山形教会・M)

●本間神父様叙階25周年心からお祝い申し上げます。洗礼の秘跡にあずかれたのは、本当に本間神父様のおかげです。苦しみ、哀しみの中で、お話をさせていただいたこと、ミサの中で折に触れ話される説教に心が救われたこと…数えきれません。これからもどうかお身体に気を付けてお過ごしください。(山形教会・M)

* * *

●叙階25周年おめでとうございます。ご健康に気を付けてこれからも若い人に負けないくらいがんばってください。よろしくお願いたします。(山形教会・S)

* * *

●いつも、いつも、私たちのために、祈りと共に働きいただき、ありがとうございます。これからもお体を大切になさって、お元気な笑顔で過ごされますように――。また、少しでも長く、山形教会の主任司祭でいてくださいますよう

保育園の職員、子ども達とお祈りしています。25周年、本当におめでとうございます。(山形教会・A)

* * *

●本間神父様、おめでとうございます。僕が洗礼を受けられたのも本間神父様のおかげです。本当にありがとうございました。一緒にお酒が飲めるようになるまで、ずっと、ずっと活躍してください。(山形教会・M)

* * *

●叙階25周年、おめでとうございます。これまでのごミサの説教では、解りやすい言葉で御自身の経験を交えながらお話いただき、その度に心が洗われるようでした。また、山形教会で、本間神父様のもと、結婚式を挙げ、今でもその時のことが思い出されます。日々お忙しいことと思いますが、お体に気を付けて私たちを導いてください。(山形教会・S)



本間神父と共にいられる幸せに感謝

カトリック山形教会 信徒会長 沼沢 敬志

本間神父様、司祭叙階25周年おめでとうございます。山形教会で記念ミサを捧げられたこと、お祝いに来て下さった方々の多さに驚きを感じるのと同時に、改めてたくさんの方々に慕われる本間神父様と共にいられる幸せを感じられたことを神様に感謝します。

また、一連の準備や式典当日にお手伝いいただいた代表者委員をはじめとする山形教会の信徒、山形聖マリア幼稚園とマリアこまき保育園の職員の皆様も、ご協力いただいた多くの方々に感謝申し上げます。

本間神父様は、2008年4月に山形教会に赴任されて

から6年間、私たち山形教会の信徒が進むべき方向を照らし導いて下さいました。その間、聖堂改修や新庄教会の設立、昨年は県内の四つの教会の主任司祭として活動するほか、幼稚園の運営、新潟教区とイエズス・マリアの聖心会においても要職を担うなど大変忙しく働かれ、苦勞も絶えなかったのではないかと思います。

信徒会長としてどれだけ神父様の力になれたのか、甚だ不安ではありますが、これからもご指導よろしくお願いたします。

健康で元気に活動されることをお祈りいたします。